

施策の柱（1）

家庭・地域と連携した

教育活動を充実します

#開かれた学校づくり

#地域学校協働活動

#部活動の地域連携



1 取組の実態

Q1 学校の教育課程について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。



全国学力学習状況調査 学校質問紙より

Q2 (保護者として) 子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するために学校に協力できるものはありますか。

～上位項目～

～回答項目～	～回答割合～
子どもの興味・関心等に応じた学びと様々な人々と関わったり協力したりする学びの充実	26.9%
健康教育・体力向上の取組充実 (日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など)	18.3%
開かれた学校づくり協議会の機能強化 (学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力する等)	17.9%

令和5年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査(保護者回答・複数回答可)より

2 取組の背景



学習指導要領には「社会に開かれた教育課程の実現」が示され、学校の教育目標や取組を保護者や地域と共有し、協力することが大切です。

しかし、保護者や地域からは「学校が教育活動を工夫していても伝わってこない」という声が聞かれます。



一方で、「保護者や地域も教育の一端を担えないか」といった意見も様々な場面で聞かれます。子どもの学びや育ちのために、学校は家庭・地域と協力し、よりよい環境づくりに努める必要があります。

3 具体的な取組

取組 1 開かれた学校づくりの推進

- 学校を社会に開くため、子どもの発信による学校ホームページの更新、デジタルを活用した保護者連絡やオンライン活用など、**学校の情報発信を工夫**します。
- 開かれた学校づくり協議会を幅広い年齢層や所属団体で構成し、**多様な人々と、よりよい学校運営の熟議**を進めます。
- 開かれた学校づくり協議会では、子どもとの協議や傍聴者との懇談など、**より多くの人に関われる運営の工夫**を進めます。



【開かれた学校づくり協議会による熟議】

取組 2 地域学校協働活動の充実

- 地域学校協働活動は、地域と学校がパートナーとなり、子どもの学びや成長を支え、**学校を核とした地域づくり**を進める活動です。
- 地域資源を生かした学習をはじめ、登下校の見守りや学校周辺の環境整備、読み聞かせ、各種検定の補助等、**学校の教育活動への協力**をいただけるよう、相談・依頼をしていきます。
- また、地域行事や防災訓練等に対する学校の理解、放課後や不登校の子の**子どもの居場所づくり**を協力し合います。



【青少協と協力した花植え】

取組 3 地域と連携した部活動の推進

- 部活動は、スポーツ・文化・科学に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するものであり、**地域等と連携した運営**が学習指導要領で求められています。
- 部活動コーディネーターを介し、地域人材等による小・中学校の**部活動指導員の確保と資質向上のための研修**を充実していきます。
- どの学校でも代表的な運動部や文化部に参加できるように、**拠点校方式による合同部活動**を令和7年度より段階的に実施します。



【中学校の部活動の様子】

施策の柱(2)

関係機関・専門家との

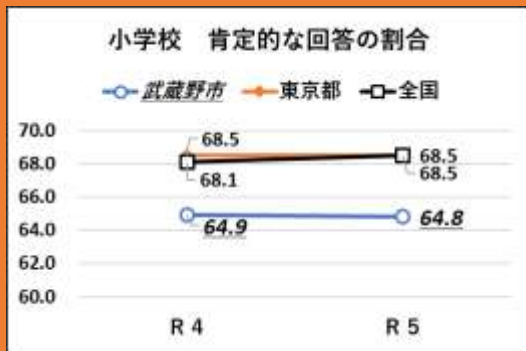
連携を充実します

#教育相談体制の充実 #専門家との連携
#幼保子・小連携、小中連携



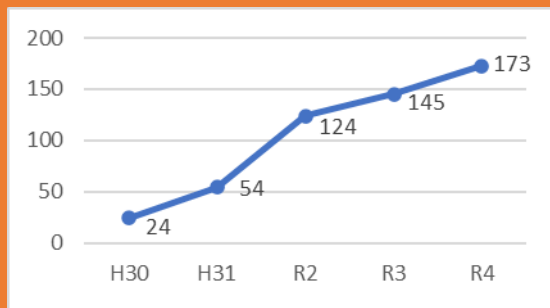
1 取組の実態

Q1 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

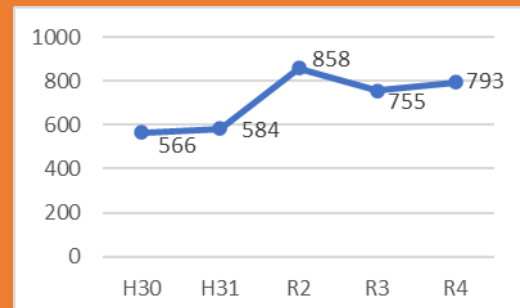


全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙より

○1 スクールソーシャルワーカーの対応案件の推移



○2 教育支援センターの関係機関等との連携件数



第三期学校教育計画の進捗状況報告資料より

2 取組の背景



困りごとがあるときに学校の大人に相談できる子の割合は5、6割に留まり、関係機関と連携した対応の件数が増えています。

子どもや家庭を取り巻く状況の複雑化を感じ、専門機関等との連携の重要性を感じている教員も多くいます。



幼少期から義務教育の卒業後までを見据え、子どもたちが安心して学び、自分らしく居られる場所を確保できるよう、連携を強化する必要があります。

3 具体的な取組

取組 1 教育相談体制の充実

- 子どもが学校の大人に気軽に相談できるよう、SOS の出し方に関する教育や、校外にて教職員が人権感覚を振り返る研修を充実します。
- 東京都スクールカウンセラー、市派遣相談員を全校配置、不登校等を支援するスクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置します。
- 教育支援センターと関係機関が連携し 子どもに関する切れ目のない相談支援体制を構築するとともに、オンラインでの教育相談の可能性について研究します。



【教育支援センターの入り口】

取組 2 専門機関との連携

- 学校の生活指導部等にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを位置付け、心理・福祉の視点から生活指導を充実します。加えて、法律的な支援としてスクールロイヤー設置を検討します。
- 児童虐待防止やヤングケアラー等の支援のために、民生・児童委員や子ども家庭支援センター等と連携します。
- 市のいじめ問題対策委員会やいじめ防止関係者連絡会に弁護士や医者、警察を位置付け、法律や医療等の観点からいじめ対策を進めます。



【SSWの相談の流れ】

取組 3 幼保子・小連携、小中連携の推進

- 幼児期の豊かな学びを小学校に引き継ぐために、子どもの気付きや子ども同士の関わり等を大切にした武蔵野スタートカリキュラムを推進します。
- 幼稚園・保育園等と小学校の連携を進めるために、子ども同士の交流や、園訪問・学校訪問による教職員間の情報交換を進めます。
- 義務教育9年間のゴールの明確化・共有のために、中学校区の学校行事等への子どもの参加の推奨、宿泊学習や武蔵野市民科など特色ある教育活動の系統性を小中合同研修会などで協議します。



【幼稚園、保育園、小学校が連携して作成したスタート・カリキュラム】

施策の柱（3）

質の高い教育活動を支える



環境整備を進めます

#教育データの蓄積・活用 #校務DXの推進
#質の高い給食提供 #学校改築・施設の維持管理

1 取組の実態

Q1 前学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙より

O1 教員の平日1日当たりの平均在校時間の推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
小学校	令和元年度	11:00	11:07	10:58	10:22	8:39	10:41	10:51	10:45	10:40	10:38	10:52
	令和2年度	9:25	9:13	10:33	10:45	9:03	10:31	10:30	10:28	10:05	9:15	10:23
	令和3年度	10:55	10:45	10:35	9:29	7:02	10:28	10:15	10:14	9:54	9:22	10:04
	令和4年度	10:46	10:27	10:18	9:17	5:57	10:02	10:08	9:53	8:48	9:14	9:30
中学校	令和元年度	10:42	10:40	10:34	10:22	8:11	10:29	10:30	10:26	10:27	10:14	10:10
	令和2年度	8:43	8:40	10:18	10:26	11:11	10:48	10:30	10:17	10:24	9:28	9:43
	令和3年度	11:03	10:54	10:15	9:55	8:42	9:59	10:29	10:31	10:02	9:43	9:56
	令和4年度	10:55	10:40	10:13	9:30	8:30	10:17	10:26	10:00	9:33	9:41	9:18

第三期学校教育計画の進捗状況報告資料より

2 取組の背景



小・中学校共に学習者用コンピュータの活用は進んでおり、クラウドを活用した校務改善も進んできています。

今後は、教育DXを中心とした働き方改革の一層の推進による校務の効率化や教育データの蓄積と活用が大切になります。



また、質の高い給食の提供や学校改築、施設の維持管理など、教育活動を支える制度面やハード面の充実も必要です。

3 具体的な取組

取組 1 教育データの蓄積と活用

- 教員の経験に加えて、データに基づく指導を実現し、子どもの力を最大限伸ばす環境をつくります。
- 次期学習者用コンピュータ導入に合わせ、学習者用デジタル教科書や学習支援ソフトを活用し、**子どもの学習データの蓄積と、一人一人の実態に合わせた個別の学習支援**ができる環境を整備します。
- 今後、子どもの学習履歴や出欠席、健康の記録、指導記録などを自動的に収集・分析ができる**教育ダッシュボードの研究**を、プライバシーに配慮しつつ進めます。



【教育ダッシュボードによるデータ活用例（東京都教育委員会 HP より）】

取組 2 校務DXを中心とした働き方改革の推進

- 本市は**先生いきいきプロジェクト 2.0**に基づき、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備などを進めてきました。
- 特に、市講師や部活動指導員、学校司書等、**学校や教員を支える人員の拡充**などを進めています。
- 資料のペーパーレス化、保護者連絡のデジタル化、校務のクラウド活用など、**ICTによる授業準備や業務の効率化**をさらに進めます。



【GIGA スクール構想の下での校務DXについて(文部科学省HPより)】

取組 3 教育活動を支える制度と施設の充実

- 健康や食育の観点から、**質の高い給食提供の取組を継続、発展**させます。そのうえで、学校給食費の無償化については、国や都の動向を注視し、様々な観点から検討します。
- 学校の改築は、これまでの改築事業で得た知見や経験を踏まえ、市全体の学校改築計画の中で、**教育面を第一に様々な課題を検討**しながら事業を進めます。
- 既存の学校施設は、計画的な予防保全と定期的な点検を継続し、**良好な施設環境を確保**します。



【ラーニング commons のイメージ】

施策（４）－①

子どもの権利を守り、



安心して学べる取組を大切にします

#人権教育・道徳教育 #安心できる学級・学校風土
#不登校支援

1 取組の実態

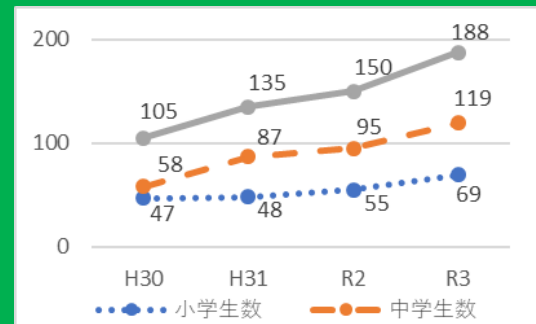
Q1 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



Q2 友達関係に満足していますか。

		R5			
		どちらかとい 当てはまる	どちらかとい いえば、当 てはまる	どちらかとい えは、当ては まらない	当てはま らない
小学校	武蔵野市	59.5	27.7	9.1	3.5
	東京都	60.5	28.1	8.0	3.3
	全国	63.2	27.1	7.1	2.5
中学校	武蔵野市	53.8	33.5	7.4	2.0
	東京都	53.9	34.3	8.4	2.6
	全国	55.3	33.4	7.9	2.4

Q3 市内の不登校児童生徒数の推移



Q1、2 全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙の結果の推移より

Q3 第三期学校教育計画の進捗状況報告資料より

2 取組の背景



直接人と出会い、話すことができることが学校のよさです。安心できる学校・学級でこそ、一人一人が自分の力を発揮することができます。

一方で、不登校児童生徒の数は増加の一途であり、誰もが安心して通える学級風土をつくとともに、不登校の子が一人で悩む状況をどうにかしなければなりません。



教員をはじめ、子どもに関わる大人、そして子ども自身が「全ての子どもは幸せになる権利をもつ」という認識を育てていく必要があります。

3 具体的な取組

取組 1 人権教育・道徳教育の推進

- 「人権教育プログラム（学校編）（東京都教育委員会作成）」を活用し、全教育活動を通して、**自分の大切さと他の人の大切さを認める**人権教育を推進します。
- 武蔵野市子どもの権利条例に基づき、子ども、教職員、保護者、地域に**子どもの権利の周知・啓発**を行います。
- 答えが一つではない道徳的な課題を自身の問題と捉え、向き合う「**考える道徳**」「**議論する道徳**」の一層の充実、道徳授業地区公開講座をはじめ、保護者・地域との連携を図ります。



【武蔵野市子どもの権利条例について（武蔵野市役所HPより）】

取組 2 安心できる学校・学級風土づくり

- 学習者用コンピュータ等を使い、**学校の風土をデータ化・見える化**し、学校をより安心して学べる場所に改善していきます。
- いじめ防止対策推進法や武蔵野市子どもの権利条例など**法令に基づいた組織的ないじめ対策**を着実に実施します。
- 自殺予防、不登校、インターネット等に関わる問題、性に関する課題（生命（いのち）の安全教育）など、生徒指導にまつわる個別の課題の**未然防止教育**を着実に実施します。



【誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（文部科学省HPより）】

取組 3 ICT 活用や関係機関の連携による居場所づくり

- 不登校の子が自分に合った相談機関や居場所につながる**よう、スクールソーシャルワーカー等と連携した実態把握と関係機関との相談調整を行います。
- 全校に**校内で安心して過ごせる居場所**を設け、校内支援を充実します。また、**校外の居場所として地域の関係団体との連携**を検討します。
- 不登校の子の教育機会と居場所確保のため、新たな学びの場の開設等を検討します。居場所の一つとして**ICTを活用した学びの場**を準備します。



【3D空間の中でアバターを使い、友達等と交流している様子のイメージ（東京都教育委員会HPより）】

施策（４）－②

一人一人の可能性を



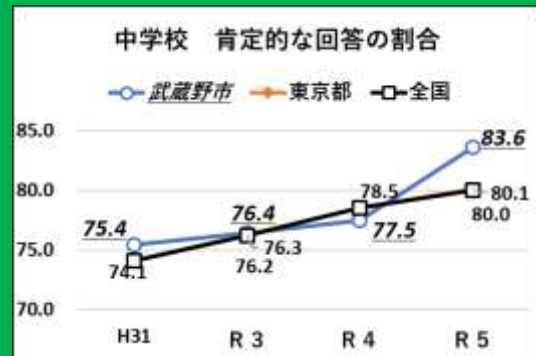
引き出す指導や支援を工夫します

#生徒指導の改善 #特別支援教育の充実
#インクルーシブ教育システムの構築



1 取組の実態

Q1 自分には、よいところがあると思いますか。



Q2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙の結果の推移より

2 取組の背景



令和4年12月に生徒指導提要在改訂され、「積極的な生徒指導」「生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援」などが求められています。

可能性を引き出すという視点では、特別支援教育や特定の領域に才能をもつ子へ支援、日本語指導など、一人一人に応じた支援が大切です。



特に、特別支援教育で一番有効なのは教室環境、ルール、雰囲気整備といった間接的な支援に関する取組です。

3 具体的な取組

取組 1 生徒指導の改善

- 生徒指導の目的には、子ども一人一人の「**個性の発見**」「**可能性の伸長**」「**自己実現**」を支えることなどがあります。
- 子ども自身が、「自分は大切にされている」「皆で支え合っている」「自分の考えを述べることができる」等と実感できるよう、全教育活動で、「何をしたいのか」「何をすべきか」といった**子どもの主体性を尊重した取組**を推進します。
- 緊急性が高い事態の発生時など、警察をはじめとした**学校外の関係機関との連携**を着実に実施します。



【「生徒指導提要（令和4年12月）」のポイント（基礎編）東京都教育委員会HPより】

取組 2 インクルーシブ教育システムの構築

- ユニバーサルデザインの考えに基づく**指導の工夫**や、感覚の特性等にも配慮した**教室環境の整備**、通常の学級に在籍する支援の必要な子への**合理的配慮の提供体制**を整備します。
- 日本語を母語としない子と家庭への支援**を継続するとともに、特定の領域に才能をもつ子の支援も研究します。
- 医療的ケアが必要な子が安全に学校生活を送ることができるように、**支援体制を整備**します。



【学校公開での特別支援教室で使用されている教材の紹介】

取組 3 特別支援教育の充実

- 子どもの教育的ニーズに応じる連続性のある多様な学びの場としての**特別支援学級の在り方について検討**します。
- 多様な他者を理解・尊重し合えるよう、通常の学級と特別支援学級、都立特別支援学校との**交流及び共同学習**や、特別支援教室等の教員による通常の学級での**障害理解教育、保護者への啓発**を行います。
- 特別支援学級では、義務教育9年間とその先を見据えた指導や支援について、**小・中学校や特別支援学校等との連携**を深めます。



【特別支援学級の学習の様子】

施策（5）－①

主体的・対話的で



深い学びを充実します

#言語能力・情報活用能力 #個別最適な学び
#協働的な学び #実社会につながる理数教育



1 取組の実態

Q1 学級の児童・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



Q2 これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙の結果の推移より

2 取組の背景



これからの社会は、細かいことを覚えるだけでなく、活用の効く知識が大切です。その上で、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成も欠かせません。

子どもは有能な学び手であり、環境を整えば自ら学んでいきます。日頃から、子どもの気付きから課題を追究する学習を実現すること、教員自身が子どもと一緒に探究しようとする姿勢が大切です。

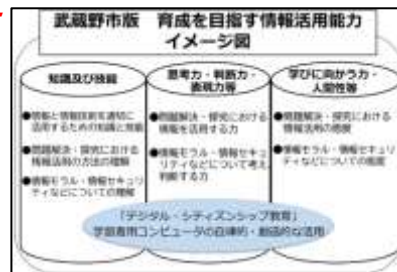


特に、ICTを使うことで、子どもは教員を介さずに求めている知識に直接アクセスできることが期待できます。

3 具体的な取組

取組1 学習の基盤となる言語能力・情報活用能力の育成

- 言語能力育成のために、今後も **各教科等の特質に応じた言語活動**や、読書等を通じた必要な語彙の獲得に取り組めます。
- 情報活用能力育成は、「武蔵野市学習者用コンピュータ活用指針」に基づき、**情報の収集・整理・分析・表現等**の取組を各教科等で進めます。
- 関係法令の理解と遵守を前提に、**学習者用コンピュータの自律的・創造的な活用**（デジタル・シティズンシップ教育）も併せて進めます。



【武蔵野市学習者用コンピュータ活用指針より】

取組2 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- 引き続き、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、**主体的・対話的で深い学びの実現**に向けた授業改善に努めます。
- 特に各教科等では、身近な生活や実社会とつなげ、「なぜ? どうして?」と**問題を発見し、解決する学習過程**を大切にします。
- その中で、学習者用コンピュータ等を活用し、自分に合った学習方法を各自で選択できる、意見や情報をすぐ共有・検討するといった**個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**を研究していきます。



【学習者用コンピュータを使った考えの共有の様子】

取組3 実社会につながる理数教育の推進

- 普段の生活と関連した理科の学習や、実社会の問題から数学的な側面を見つける学習など**実生活とつながる理数教育**の充実を図ります。
- 市内の理数教育への機運を高める**ために、小学校の理科教育推進教員や中学校の理科教員を対象に、野外活動センターや武蔵野地域自由大学との連携など、研修機会の確保を検討します。
- サイエンスクラブやサイエンスフェスタとの連携など、実生活につながる科学実験やプログラミング等の成果を披露し、**科学に対する興味・関心を市全体で高める取組**を検討します。



【毎年多くの参加があるサイエンスフェスタの様子】

施策（5）－②

知性・感性を磨く



体験活動を重視します

#文化・芸術体験 #外国人との交流 #読書活動
#長期宿泊体験 #体力向上・健康の保持増進



1 取組の実態

Q1 学校で「もっとやってほしいこと」や「やってみたいこと」は何ですか。

小学校第6学年			中学校第3学年		
	内容	%		内容	%
1	学習者用コンピュータなどを使って、自分が興味あることを調べること	40.0	1	色々な学年や学級の子もたちと学んだり遊んだりして交流すること	35.8
2	動画や映像作品をつくる、プログラミングでアプリやゲームを作るなど	39.1	2	プロの音楽家の演奏を聴いたり、美術作品を見たりすること	28.8
3	いろいろな学年や学級の子もたちと学んだり遊んだりして交流すること	31.4	3	スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること 動画や映像作品をつくる、プログラミングでアプリやゲームを作るなど	28.0

令和5年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査より

Q2 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙の結果の推移より

2 取組の背景



「子どもの学習・生活に関する調査」の結果を見ると、子どもたちは、学校で様々な体験活動や交流することを期待していることが分かります。

本市が長年取り組んできた長期宿泊体験活動をはじめとして、豊かな体験活動は、子どもが大きく成長するきっかけとなります。



知性・感性を磨く上では、多様な本との出会いや読書に親しむ機会の確保も大切です。

3 具体的な取組

取組 1 文化・芸術等の専門家や外国人との交流

- 武蔵野文化生涯事業団や地域団体等に協力いただき、**プロの音楽や絵画、映像、伝統文化などを体験する機会**をつくります。
- 武蔵野市国際協会や市内の大学との連携、東京都教育委員会の事業やオンラインなど活用し、**外国人や留学生と英語で交流する機会**をつくります。



【海外交流都市のラブック市との交流の様子】

取組 2 持続可能な長期宿泊体験の実施

- 令和5・6年度に実施した長期宿泊体験活動検証委員会の報告を基に、**宿泊学習の系統性や子どもの参画、探究的な学び**等の観点から取組を見直し、実施します。
- 訪問先の方々や学校・家庭等の負担を考慮し、**持続可能な運営の在り方に関する見直し**を検討します。



【セカンドスクールの様子】

取組 3 中央図書館と連携した読書活動

- 中央図書館と連携**し、学校司書による授業支援や研修を充実させ、子どもの居場所である学校図書館の読書センター、学習・情報センターとしての機能を高めます。
- 改築校に設ける**ラーニングコモンスの効果的な活用**を検討し、個別最適な学びや協働的な学びを充実します。



【学校図書館での読み聞かせ】

取組 4 体力向上や健康の保持増進の取組

- 健康はウェルビーイングの観点から重要です。**運動量の確保や質の向上**のため、日々の授業や休み時間の取組を工夫します。
- 生涯に渡って運動に親しむ機会**づくりとして、**パラスポーツやニュースポーツ**等を体験する機会をつくります。
- 外部講師によるがん教育等、**健康課題に関する学習**を充実します。



【オリンピックとの交流】

施策(6)ー①

子どもによる自発的・自治的な 学級・学校づくりを進めます

#学級活動・学級会 #自発的・自治的活動
#異学年交流 #交流共同学習

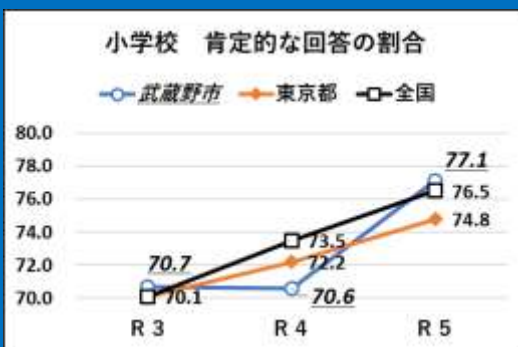


1 取組の実態

Q1 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（中学校は学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。



Q2 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙の結果の推移より

2 取組の背景



社会構造が大きく変わる中、自分で考え判断・行動できる子の育成を一層重視していく必要があります。

価値判断、創造、意思決定、協働といったことは人間だからこそできる営みです。



子どもたちは、一人一人違った考えや意見もっています。そうした多様性を生かした交流活動や、目的や目標の実現に向けた合意形成の取組を進めていくことが大切です。

3 具体的な取組

取組 1 学級活動・学級会の充実

- 学級活動は、話し合い活動等を通して、子ども一人一人の自主的、実践的な態度や社会性等の育成を目指します。
- そのために、**学級・学校の中から課題を見だし、解決するための方法や内容を話し合う**など、他者と協働してよりよい学級や学校生活をつくっていきます。
- 特に、学年の発達段階に応じ、**集団としての「合意形成」や、自己の課題解決のための「意思決定」のプロセス**を大切にします。



【小学1年生の学級会の様子】

取組 2 自発的・自治的活動を通じた意見表明・参加

- 子どもの意見表明や参加**は、児童の権利条約や武蔵野市子どもの権利条例にも位置付けられた子どもにとって大切な権利の一つです。
- 学校行事を子ども主体で計画する、学校の実情や社会の変化を踏まえて生活のきまりを見直すなど、児童会や生徒会などによる**自発的・自治的な活動を通じた意見表明や参加**を推進します。
- その際、少数意見や保護者・地域の意見など**多様な他者を認める**ことや過程・手順を大切にします。



【生徒会主体による意見ボックスの電子化】

取組 3 異なる学年・学級等の交流の充実

- 異学年交流は、上学年のリーダーの意識や思いやりと、下学年の成長への意識を向上させます。教科の発表、集会活動、学校行事等で、**上学年が下学年を主体的にリードする活動**を進めます。
- 特別支援学級併設校では、特別支援学級と通常の学級の**交流及び共同学習**を推進し、共に学校をつくる一員としての集団意識を高めます。
- 学校の実態に応じ、**特別支援学校との副籍交流**について、直接交流や作品紹介等の間接交流を推進します。(上記2つの関連=施策の柱(4)―②取組3)



【中学校の合唱祭や特別支援学級の交流の様子】

施策(6)-②

まちや社会と向き合い、

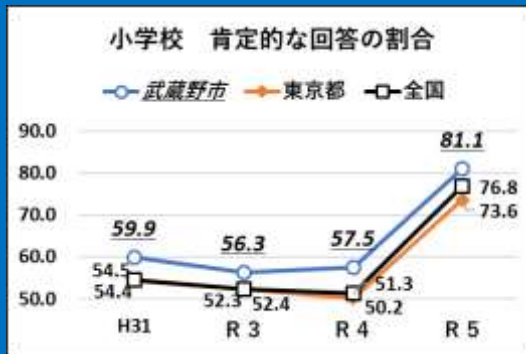


未来を考える学びを創ります

#地域と連携した学び #総合的な学習の時間
#武蔵野市民科

1 取組の実態

Q1 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



Q2 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙の結果の推移より

2 取組の背景



武蔵野市では、総合的な学習の時間を中心に各校が特色ある実践してきたことで、課題解決や社会参画への意識の高まりがみられています。

防災の取組など、社会の現実、リアルを身近に感じることで当事者意識も高まると思います。



持続可能な社会をつくるには、子どもと大人が「自分の参画で社会が幸せになる」という社会参画意識をともに高めていくことが大切ではないでしょうか。

3 具体的な取組

取組1 地域と連携した学びの推進

- 社会参画意識を高めるには、実際に人々とふれ合う中で、地域や社会を知り、自らも関わる事が大切です。
- 各教科等の学びに、幼児や高齢者、障害者などまちの人々との交流、防災訓練や地域環境の美化など地域のための協働を、今後も取り入れます。
- その際、地域コーディネーターを介し、青少協やコミュニティセンター、防災組織など、地域の関係機関との連携を深めます。



【中学校の学校公開で実施された地域防災訓練の様子】

取組2 探究的な総合的な学習の推進

- 総合的な学習の時間は、地域等の特色を生かし、目標や内容を各校で設定します。
- 実体験や地域探索から課題を見出すなど、子ども自身の課題意識や、探究的な学習過程を大切にします。
- 学習過程では、新たな課題の発生や学習が暗礁に乗り上げることもあります。学びを深めるチャンスです。話し合いや地域・社会に赴き、協力を仰ぐなど協働的な学びを進めます。



【地域と協働して作成したタウン誌の表紙】

取組3 武蔵野市民科の充実

- 武蔵野市民科は、よりよい地域・社会の創り手の育成を目指し、総合的な学習の時間と教科等を組み合わせた本市独自の取組です。(小学5年生以上で実施)
- 特に、自分や地域・社会から課題を見出し、探究する中で「自分がどう取り組むか・どう関わるか」を発信・実行する取組を充実します。
- また、市役所の各課、地域団体や企業、専門家といった関係機関との学びの共有や協働を進め、取組の様子を保護者や地域へ発信します。



【武蔵野市民科の取組の詳細はこちらから】

施策(6)一③

学校の強みと教員の主体性を



生かした学校づくりを進めます

#カリキュラム・マネジメント #特色ある教育活動
#人材育成

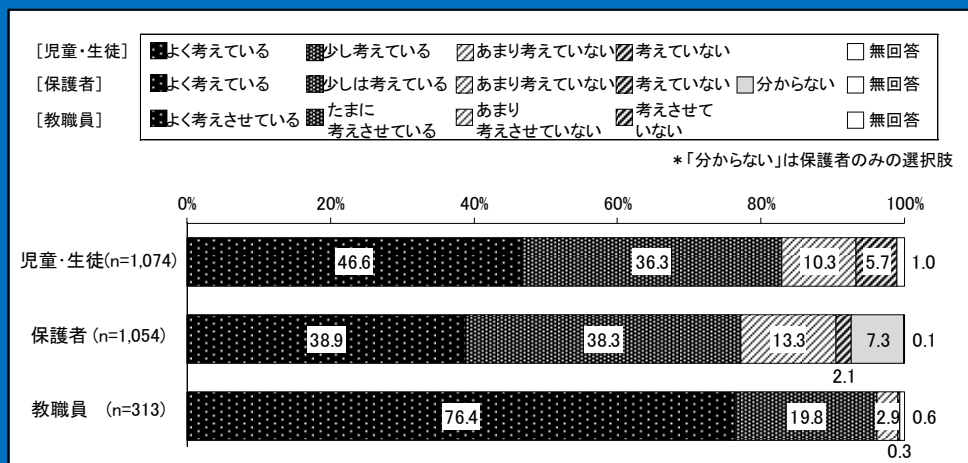


1 取組の実態

Q1 どんなどきに仕事のやりがいや充実感を感じますか。(複数回答可)

	小学校教員		中学校教員	
	内容	%	内容	%
1	受け持っている子どもの成長を感じたとき	87.8	受け持っている子どもの成長を感じたとき	87.8
2	子どもや保護者から感謝の言葉を述べられたとき	76.0	子どもや保護者から感謝の言葉を述べられたとき	74.5
3	同僚や管理職から自分の仕事を認められたとき	61.8	学校行事や大きな取組がうまくいったとき	54.9

Q2 学校の取組や行事のときに、目的や目標を考えていますか。



令和5年度 武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査報告書より

2 取組の背景



教員のウェルビーイングを高めるには、業務改善を図るとともに、仕事のやりがいを実感できる取組を進める必要があります。

総合的な学習の時間を中心に、授業の1、2割が変われば、教員による主体的な学校運営が実現できるのではないのでしょうか。



また、学校の教育活動を充実させるには、学校評価を通して取組を見直し、改善するスパイラルを回すことが大切です。

3 具体的な取組

取組1 カリキュラム・マネジメントの推進

- カリキュラム・マネジメントは、学校の教育目標実現に向け、地域や子どもの実態を踏まえ、教育課程を編成・実施・評価・改善する取組です。
- 学校経営計画や学校評価など、校長を中心に **全教員が学校運営の主体者**として取り組む仕組みを推進します。
- その際、教育活動の **教科横断的な取組**、**学校内外の資源の有効活用**を進めます。



【開かれた学校づくり協議会による学校評価の様子】

取組2 特色ある教育活動の充実

- カリキュラム・マネジメントを進めると、各校の特色が明確化してきます。
- 各校で ICT 活用や体力向上、〇〇フェスタなど、**自校の特色ある教育活動は何か**を振り返り、充実させる取組を推進します。
- 学校の **特色ある教育活動を支援する**ために、市の教育課題研究開発校の指定とともに、独自予算の確保や、文部科学省の教育課程特例校制度を活用した弾力的な教育課程の編成も検討します。



【各校の特色ある教育活動の様子】

取組3 教師のやりがい支援（人材育成）

- 子どもの成長に、指導力向上は欠かせません。**教員の主体的な学びを推奨**するために、都認定団体や民間団体主催の研究発表会などの参加費補助を充実します。
- 若手教員育成のための指導主事や教育アドバイザーの派遣、学校運営の中核となる教員向けのマネジメント研修など、**職層等に応じた研修**や相談事業を充実します。
- 教員自身のキャリアプランや興味・関心等を踏まえた研鑽のために、**研修履歴を基にした管理職との対話**による研修の受講を進めます。



【校内研究の様子】